

News Release

2018年10月29日
日立キャピタル株式会社
日立租賃(中国)有限公司

「第1回日中第三国市場協力フォーラム」において中国企業との協業に合意

日立と協働で、省エネや環境保護、公共事業などの分野において第三国での事業展開を推進

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼 CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)のグループ会社である日立租賃(中国)有限公司(以下、日立租賃)は、10月26日に安倍晋三首相と李克強首相の日中両国首相が参加し、中国・北京で開催された「第1回日中第三国市場協力フォーラム」において、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)および新中水(南京)再生資源投資有限公司(以下、新中水)と、省エネ、環境保護、公共事業、クリーンエネルギー、水処理などの分野での協業を推進することに合意しました。

日立租賃および日立は、中国において環境分野の事業を展開する中国水業集団のグループ会社で、新エネルギー事業や、省エネ事業に取り組む新中水とともに、中国国内および第三国における省エネや環境保護、公共事業のほか、クリーンエネルギーや水処理などの分野におけるプロジェクトを共同で推進することに合意しました。日立租賃、日立および新中水の3社は、設備の調達やソリューション提供、ファイナンスに関する提携の検討を進めます。

日立キャピタルグループは、地球環境を考え、社会の発展と人々の豊かな暮らしを実現するため新しい価値を創造し提供する「社会価値創造企業」を経営方針として掲げています。本調印を契機に、海外における中資系および日立グループをはじめとするパートナーとの連携をさらに強化し、事業領域の拡大をはかることで、社会の課題解決と発展・成長への貢献をめざしていきます。

■日立キャピタルグループの中国事業について

日立キャピタルグループは、中国本土および香港にて、日立の重要な金融パートナーとして社会インフラに関するファイナンスなどを中心に事業展開をしています。2017年度の中国事業における税引前当期利益は7,677百万円で、グループ全体の14.4%を占めています。

2017年11月、中国における財務統括機能の強化を目的に、香港の子会社を金融持株会社とする組織再編を実施しました。ファイナンス機能を強化することで、日立グループの中国事業と一体化した事業を拡大していきます。組織再編後の取り組みの一環として、同年12月に香港にて、日系企業としてアジアで初めてグリーンボンドを発行しました。今後も中国本土および香港の持続的な発展への貢献をめざします。

■照会先

日立キャピタル株式会社

営業統括本部 企画本部 グローバル事業企画部 [担当:矢吹]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 050-3816-2058 (直通)

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:伊藤]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上